



まなびい 掲示板

スポーツ安全保険に加入しましょう

この保険は、傷害保険・賠償責任保険・突然死葬祭費用保険の3つがセットになっており、スポーツ少年団、子ども会、老人クラブなどスポーツ活動や文化活動、ボランティア活動を行う社会教育関係団体の活動中（団体活動への往復中も含む）の事故を補償する保険です。

詳しくは、NPO法人葛巻町体育協会（社会体育館内）へ問い合わせいただくか、ホームページ「すばあねっと」をご覧ください。

▶保険期間

4月1日午前0時から平成28年3月31日正午まで（4月1日以降の申込は、加入手続きの翌日午前0時から平成28年3月31日まで）

▶掛け金

団体の活動内容や年齢構成などにより1人年額800円～11,000円

▶補償内容

加入区分によって異なります。

▶加入手続き

加入依頼書が、社会体育館にありますので、最初に5人以上のグループで加入依頼書により手続きしてください。

問 NPO法人葛巻町体育協会 ☎66-3607

私たち60歳、まだまだこれから

3度目の成人式「60歳のつどい」

町内の60歳を対象とした「60歳のつどい」が3月15日、グリーンテージで開催され、参加した25人が交流を深めながら、3度目の成人式を祝いました。

第一部では、レクリエーションなどで体を動かし、仲間と共に心地よい汗を流しました。

第二部の交流会では、久しぶりに会う友人や、初対面の方など、同級生という安心感から会話が弾み、終始笑いの渦に包まれ、和やかな会となりました。

最後に「私たち60歳、まだまだこれから」とお互い励まし合い、再び元気で会うことを約束し、つどいを終了しました。

近藤健吉さん（城内小路）は「初めて会話する人もいて良い刺激になった。健康に留意しながら、仕事や自治会、祭りなど地域に貢献できるよう、これからもまだまだ頑張っていきたい」と笑顔で話しました。



これからの活躍を誓い合った60歳のつどい参加者

葛巻町開催まであと550日！



県民・町民が関われるボランティア

大会観戦、チーム応援で参加

ダンスや歌、デモスポ競技に参加

スタッフ、ボランティアで参加

花いっぱいのもちで歓迎

2016希望郷いわて国体（国民体育大会）、希望郷いわて大会（全国障害者スポーツ大会）がいよいよ、平成28年1月の冬季大会から開幕します。今月から広報くずまきで、さまざまな国体への取り組みを紹介していきます。今回は、県民・町民が関われるボランティア、本町での開催種目と日程・会場を紹介します。

全県民、オール葛巻で取り組み、全国からの選手団、観客を万全の体制でお迎えしましょう。

葛巻町での開催種目と日程・会場



軟式野球

【成年男子／正式種目】

■平成28年10月2日⑤～4日④

■総合運動公園 野球場



ネオホッケー

【デモスポ競技／県内選手】

■平成28年10月9日⑤

■社会体育館

町民みんなの 手で盛り上げよう



2016希望郷いわて国体・希望郷いわて大会

小学校「放課後子ども教室」 安全管理員を募集します

小学校で実施している放課後子ども教室において児童の見守りや学習の補助を行う「安全管理員」を募集します。

遊びやスポーツなどでたくさん子どもたちと触れ合ってみませんか？ 関心のある方はお気軽にお問い合わせください。

- 応募要件 18歳以上の方（高校生除く。男女不問）
- 活動日・時間 月曜日から金曜日までの週2～3回（学校によって曜日が異なります）15～17時
- 活動場所 葛巻小学校、小屋瀬小学校、江刈小学校、五日市小学校のいずれか
- 任用期間 5月1日～平成28年2月29日
※申込みは随時受付します。
- 謝礼 日額1,200円を支給します。
- 問合せ・申込み先 教育委員会 ☎66-2111 内線275



葛巻地区更生保護女性の会の方々と、楽しみながら「へつちよこだんご」を作る子どもたち（11月11日、葛巻小学校）



『でんでら国』 平谷 美樹 作

姥捨て山のその奥に老人たちの桃源郷があった。時は幕末、陸奥国の八戸藩に扶まれた二万石の小さな国、大平村が舞台。村には、60歳になると全ての役割を解かれ、食いぶちを減らすため、村には戻れない姥捨ての旅と囁かれる御山参りの習わしがあった。一方、どんな飢饉の年でもきちんと年貢を納める大平村に不信を抱く代官所。「隠田を開田しているのではないか」との疑惑から、真実を暴きたい代官所と村人との攻防戦が始まる。老人たちの知恵と勇気の幕末老人エンタテインメント！



『日本の大和言葉を美しく話す』 高橋 こうじ 作

一心が通じる和の表現—

日本には、大きく分けて漢語と外来語、生粋の日本語である「大和言葉」の三つがあります。最近では、造語能力に富む漢語や、一見おしゃべりな外来語に押されて、美しい「大和言葉」が使われなくなっています。本書で、日本人が育んできた知的で優雅な余韻を残す言葉づかいを身に付けてみませんか？



『かぜのでんわ』 いもと ようこ 作

大槌町の佐々木格さんが、自宅の庭に「風の電話ボックス」を置きました。「会えなくなった人へ伝えたい…」「一人きりになって、電話をかけるように相手に想いを伝えたい」でも、実際、電話の回線は繋がっていません。この絵本は、心の復興のきっかけとなった「風の電話」をもとに描かれた感動の作品です。

●開館時間：午前8時30分～午後7時
●休館日：年末年始

公民館 図書室から 本の紹介